

指定管理者管理運営状況評価

1 概要

(1) 施設名称

施設名	県立鴨川青年の家
指定管理者	公益財団法人千葉県教育振興財団
指定管理期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
評価対象年度	令和元年度
第三者評価の有無（今回）	無
施設所管課	教育庁教育振興部生涯学習課

(2) 施設の設置目的等

設置目的	青年の家は、団体生活を通じて青少年の健全な育成を図ることを目的とする。
指定管理者が行う業務の範囲	①青少年の団体生活訓練に関すること。 ②青少年の生活指導及び技術指導に関すること。 ③青少年指導者の研修に関すること。 ④前各号に掲げるもののほか、青年の家の目的を達成するために必要な業務。

(3) 施設の運営状況

年度	利用者(人)	事業費等の内訳(千円)					
		指定管理料(A)	その他維持管理費(B)	利用料金(C)	事業費総額(A+B+C)	使用料等県収入(D)	県の収入(D-A-B)
29	69,301	101,765	1,814	17,162	120,741	103	-103,476
30	69,922	101,765	15,787	16,542	134,094	103	-117,449
元	59,859	102,708	7,074	14,080	123,862	103	-109,679

※その他維持管理費・・・維持補修費、委託料、工事請負費、備品購入費(指定管理料に含まれるものを除く)

2 評価結果

(1) 管理運営状況評価

評価項目	評価	評価理由等
管理業務の実施状況に関する事項	施設の設置目的・法令等の遵守等	A ・施設の設置目的に沿った運営を心がけている。 ・個人情報保護に関する規定を整備し、適正に履行している。 また、全職員に対しての研修を行うことができています。
	安全性の確保	A ・あらゆるパターンの緊急時を想定した危機管理マニュアルの整備に努めることができています。
	適切な管理運営	A ・委託業者による清掃業務の他、施設職員による環境整備を定期的に実施している。
	適切な財産管理	A ・保守点検が定期的に行われ、施設環境の保全に努めている。
事業の企画運営に関する事項	事業の実施(必須事業)	A ・「海」という地域の特色を十分に生かした事業展開を実施している。施設職員等による専門的な指導が行われている。 ・業務報告書に「成果と課題」を記載しており、次への改善点

項	サービスの向上 地域の連携等	A	を明確にし、運営に生かそうとしている。 ・利用者の満足度を高めるために、利用者の意見や要望に対して、丁寧に対応するように努めている。 ・地域や学校、鴨川市、ボランティア等と連携を図りながら、様々な事業を展開している。
施設利用状況に関する事項 利用者数 稼働率 料金収入		A	・災害等の影響もあり、前年度より利用者数、宿泊者数、団体数は減少したが、宿泊室稼働率は57%と高い値を示している。
運営体制		S	・「安全・安心を最優先に考え、安全管理を徹底する。」という方針のもと、適切に管理運営を行っている。 ・カッターやシーカヤック等の指導法の研修や、職員の技能向上に関する研修を多く取り入れ、個々の資質向上を図っている。
収支状況 財務状況		S	・適正な収支決算がなされている。 ・財務状況について、特に問題はない。
利用者意見の反映 利用者満足度		A	・利用者の要望・意見に丁寧に対応するよう努めている。 ・利用者満足度も高い評価を得ている。
総合評価	良好		各項目の合計得点 22点/30点満点 (73.3%) 各項目の評価点数の平均点 2.2点

(2) 特記事項

特記事項	特に評価される点	・利用者の声を大切にした施設運営に心がけている。 ・カッターやシーカヤック研修における安全対策を十分に行い、事故なく安全な運営に努めることができています。
	次年度に向けて改善が望まれる点	・現在の利用者数に満足することなく、閑散期も含め利用者拡充のためのさらなる具体的方策が望まれる。
	前年度評価で改善が望まれると指摘された点とその改善状況	(改善が望まれるとされた点) ・事故対応などは事前に十分に検討し、職員全体で共通理解を図って、県への報告も含めて対応することが望まれる。 ・閑散期対策を具体的に検討し、利用者拡充に繋げることが望ましい。 (改善状況) ・事故発生時に、時系列に記録を残す等の対応ができていた。 ・閑散期対策として、「鴨川青年の家まつり」は成果を挙げている。

(3) その他

第三者評価における その他の意見	・第三者評価は実施せず（平成30年度に実施）
---------------------	------------------------